

株式会社 シイエム・シイ

2010年9月期 第2四半期決算説明会
(6か月累計)



2010年5月10日

1. 当社のプロフィール
2. 第2四半期決算について
3. 売上高の内訳について
4. 通期見通しについて
5. 配当政策について
6. 課題と中長期戦略について

1. 当社のプロフィール

- ▶ 会社概要
- ▶ 沿革
- ▶ 事業内容

会社概要

※ 数値は2010年3月31日現在のもの

会社名	株式会社シイエム・シイ
本社所在地	名古屋市中区平和一丁目1番19号
創業者	林 幹治(現 取締役会長)
設立	1962年5月25日
代表取締役社長	龍山 真澄
資本金	529,770千円
発行済株式数	2,243,600株
従業員数	436名(連結551名)
事業内容	マーケティング事業、システム開発事業
取得認証	ISO9001、ISO14001、ISO27001、プライバシーマーク
上場市場	JASDAQ市場(2008年12月4日上場 証券コード：2185)
関係会社	株式会社 CMC Solutions(連結子会社) CMC PRODUCTIONS USA INC 広州国超森茂森信息科技有限公司 大地新模式電腦制作有限公司
拠点	国内：6拠点 海外：5拠点



沿革

- 1962年 5月 株式会社名古屋レミントンランド・マイクロフィルムサービスを名古屋市東区に設立
図面・文書などのマイクロフィルムサービス受託業務を開始
- 1966年 5月 株式会社中部マイクロセンターに商号を変更、本社を名古屋市中区に移転
- 1970年 12月 パンチサービス受託業務を主業務とするEDP(電子データ処理システム)事業部を開設
- 1972年 4月 EDP事業部を独立させ株式会社中部システムズを名古屋市中区に設立
コンピューターオペレーション、プログラム受託業務を開始
- 1977年 6月 トヨタ自動車販売株式会社(現 トヨタ自動車株式会社)の修理書原稿作成業務の受託を開始
- 1979年 8月 翻訳を主業務とする株式会社イントランスを東京都中央区に設立
- 1980年 11月 印刷工場を分社化し、株式会社中部印刷製本センターを名古屋市中川区に設立
- 1989年 10月 中部マイクロセンターの商号を株式会社シイエム・シイに変更
- 1994年 2月 分社化していた株式会社イントランス、株式会社中部システムズ、株式会社中部印刷製本センターを
吸収合併し、株式会社シイエム・シイとして新たにスタート
- 1998年 6月 アメリカの拠点としてロサンゼルスにCMC PRODUCTIONS USA INCを設立
- 2002年 4月 中国辛集市に大地新模式電腦制作有限公司を設立、北京市に事務所を開設
- 10月 キャリア・プロデュース事業部を開設し、人材派遣業務を開始
- 2005年 12月 中国広州市に広州国超森茂森信息科技有限公司を設立
- 2006年 10月 ソフトウェア開発・人材派遣部門を分社化し、株式会社 CMC Solutionsを
名古屋市中区に設立(連結子会社)
- 2008年 12月 JASDAQ市場に株式を上場
- 2009年 3月 シンガポールに支店を開設

事業内容

マーケティング事業 (株式会社シイエム・シイ)

インターナル・マーケティング

業務標準化、商品教育、販売教育、技術教育、
会議運営

エクスターナル・マーケティング

販売促進、広告宣伝・広報、ブランド構築、PR

カスタマーサポート・マーケティング

取扱説明書・修理書等の企画・編集・制作

トータルプリンティング

取扱説明書等の印刷、一般商業印刷

システム開発事業 (株式会社 CMC Solutions)

コンピューターソフトウェア開発

コンサルテーションサービス
システムインテグレーションサービス
スペシャリストサービス

人材派遣

一般人材派遣

2. 第2四半期決算について

- ▶ 業績について
- ▶ 自己資本(比率)について
- ▶ 純利益増減要因
- ▶ キャッシュ・フロー

業績について

前年同期比 23%減収、52.7%経常減益

単位：百万円

	2009/9 上期	2010/9 上期	前年同期比	
			金額	%
売上高	6,942	5,345	▲1,597	▲23.0
営業利益	1,077	484	▲593	▲55.1
経常利益	1,079	510	▲568	▲52.7
当期純利益	634	232	▲402	▲63.4
				単位：円
1株当たり純利益	294.36	103.60	▲190.76	—

自己資本(比率)について

前期末比 3.6ポイント上昇し、78.8%

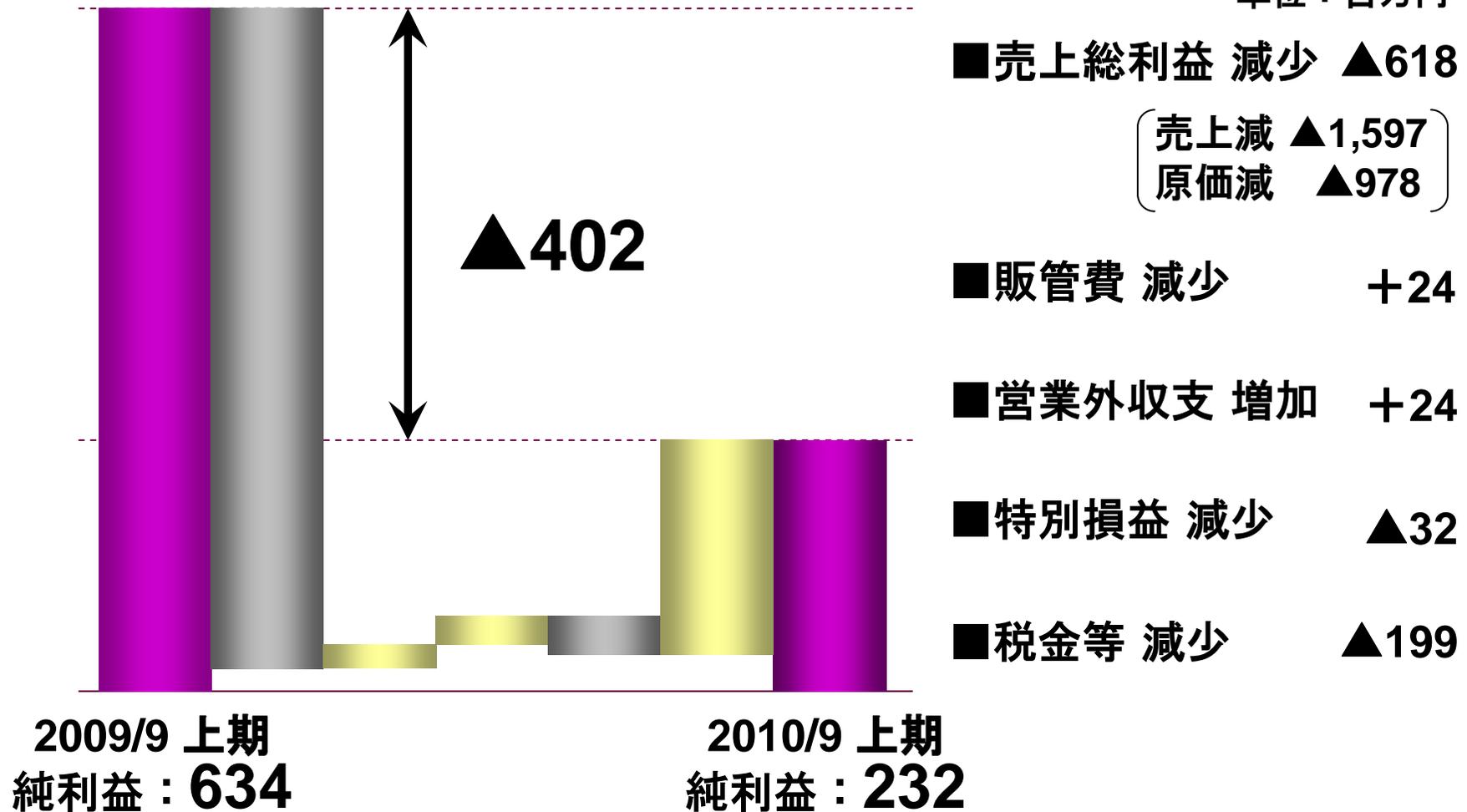
単位：百万円

	2009年9月末	2010年3月末	前期末比	
			金額	%
総資産	9,908	9,645	▲262	▲2.6
純資産	7,453	7,599	+146	+2.0
自己資本比率(%)	75.2	78.8	+3.6	—
				単位：円
1株当たり純資産	3,321.91	3,387.27	+65.36	—

純利益増減要因

売上高減少に伴う売上総利益減少

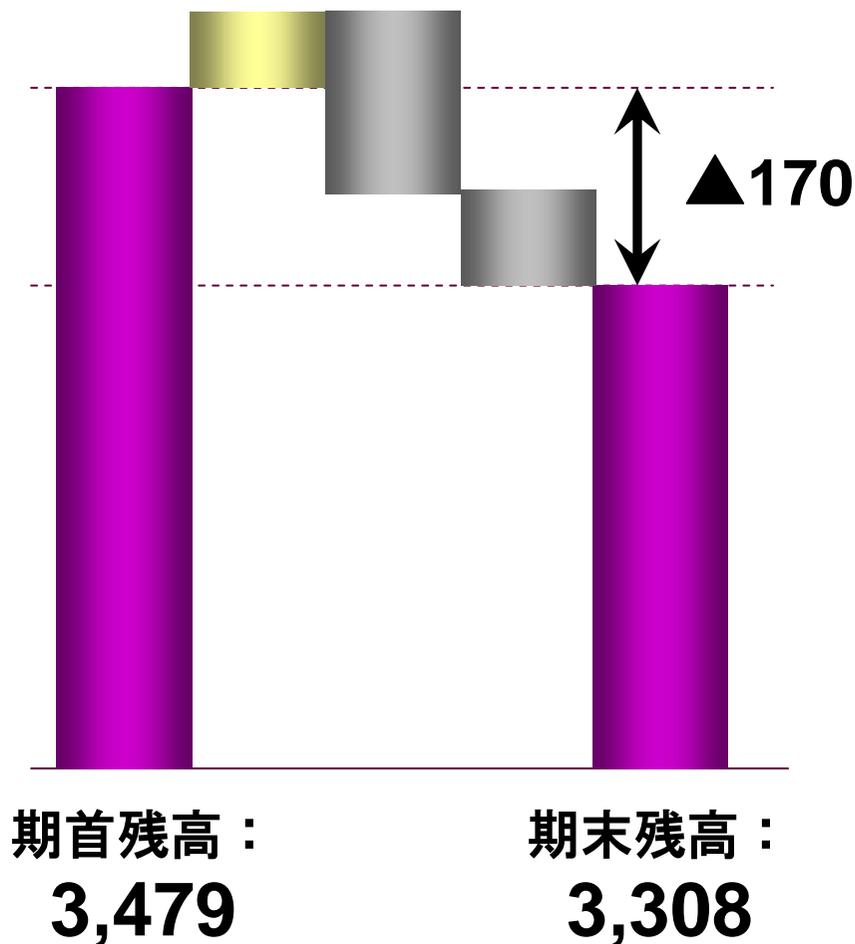
単位：百万円



キャッシュ・フロー増減要因

営業活動収入微増、投資支出増加

単位：百万円



■営業活動による増加 +51

税前利益	+517
引当金減少	▲164
法人税等支払	▲349

■投資活動による減少 ▲133

子会社出資金取得	▲72
固定資産取得	▲63

■財務活動による減少 ▲89

3. 売上高の内訳について

- ▶ **グループ業務分類別売上**
- ▶ **マーケティング事業**
 - インターナル・マーケティング
 - エクスターナル・マーケティング
 - カスタマーサポート・マーケティング
 - トータルプリンティング
- ▶ **システム開発事業**

グループ業務分類別売上 2010/9 上期

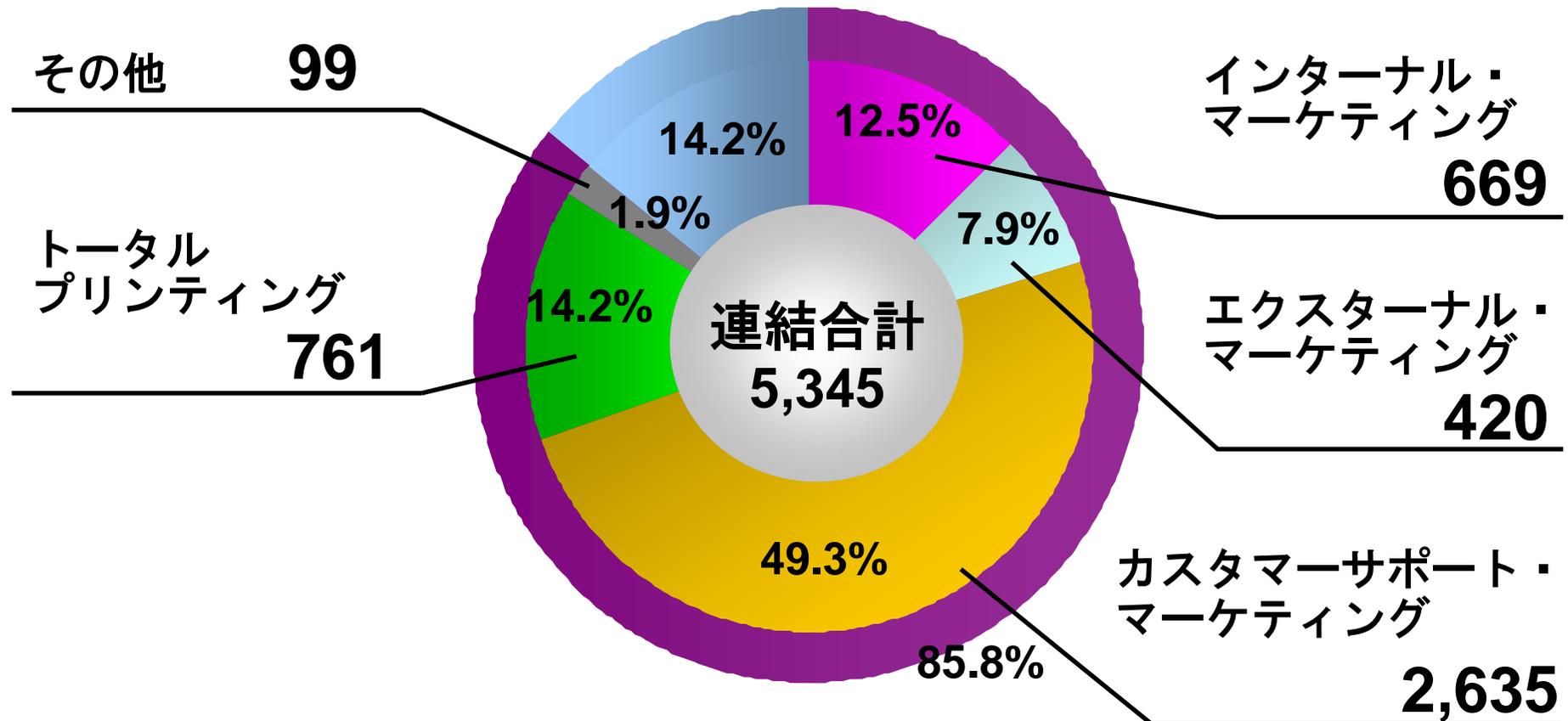
単位：百万円

システム開発事業

758

マーケティング事業

4,586



顧客企業の予算削減により減収

単位：百万円

業務内容	2009/9 上期	2010/9 上期	前年同期比	
			金額	%
教育支援	441	432	▲10	▲2.2
業務標準化支援 他	404	237	▲168	▲41.3
合計	846	669	▲177	▲20.9

顧客企業の予算削減により減収

単位：百万円

業務内容	2009/9 上期	2010/9 上期	前年同期比	
			金額	%
販売促進	531	330	▲201	37.7
ブランディング	125	23	▲102	81.2
広報・人事・採用・IR 他	134	66	▲69	▲50.9
合計	791	420	▲371	▲46.9

前年同期の好調の反動で減収

単位：百万円

業務内容	2009/9 上期	2010/9 上期	前年同期比	
			金額	%
取扱説明書	1,616	1,199	▲418	▲25.8
修理書・解説書 他	1,758	943	▲816	▲46.4
その他	468	492	+24	+5.3
合計	3,843	2,635	▲1,209	▲31.4

マニュアル類好調により増収

単位：百万円

業務内容	2009/9 上期	2010/9 上期	前年同期比	
			金額	%
取扱説明書・修理書 他	215	471	+256	+119.0
商業印刷	236	274	+38	+16.2
その他	7	15	+8	+110.4
合計	459	761	+302	+65.9

主要顧客向けシステム開発案件の減少

単位：百万円

業務内容	2009/9 上期	2010/9 上期	前年同期比	
			金額	%
システム開発	732	602	▲130	▲17.7
コンピューター ソフト・ハード販売	105	95	▲10	▲9.2
人材派遣	71	60	▲12	▲15.7
合計	909	758	▲151	▲16.6

4. 通期見通しについて

- ▶ 上期実績（計画対比）
- ▶ 通期予想と上期の進捗率

上期実績(計画対比)

単位：百万円

	2010/9上期 計 画	2010/9上期 実 績	計画対比	
			金 額	%
売上高	5,154	5,345	+191	+3.7
営業利益	224	484	+259	+115.6
経常利益	236	510	+273	+115.8
当期純利益	174	232	+57	+32.9
				単位：円
1株当たり純利益	77.95	103.60	+25.64	—

通期予想と上期の進捗率

単位：百万円

	2010年9月期 予 想	2010/9上期 実 績	進捗率
売上高	11,682	5,345	45.8%
営業利益	862	484	56.1%
経常利益	886	510	57.5%
当期純利益	561	232	41.4%
			単位：円
1株当たり純利益	250.18	103.60	—

5. 配当政策について

- ▶ 配当実績および見込み

配当実績および予定

2010年9月期、60円に増配

	実績				予定
	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年
1株当たり配当金	200円	200円	20円	40円	60円
配当性向	5.4%	5.3%	5.1%	9.8%	24.0%

↑
2008年4月2日付で1株につき10株の株式分割を行っております。

安定性を重視しつつ、以下の要素を総合的に勘案して決定

- ・ 将来の成長に備える内部留保
- ・ 中長期的な業績見通し
- ・ 手元資金状況

6. 課題と中長期戦略について

- ▶ 課題
- ▶ 中長期戦略

新しい表現手法への対応

優秀な人財の確保と育成

新たなビジネス・チャンスの発掘

新しい表現手法への対応

取扱説明書など、印刷物から映像へ移行
⇒CG、映像のノウハウ強化

▼商品コマーシャルフィルム



▼機能解説CG



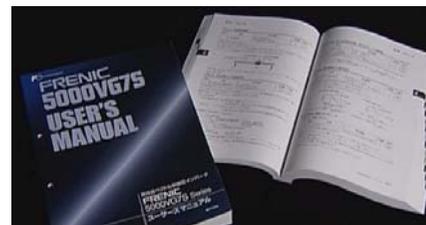
優秀な人財の確保と育成

商品知識と企画編集スキルを持った人財確保が急務
⇒商品知識・営業スキル・語学の教育



新たなビジネス・チャンスの発掘

⇒ 将来に向けての新規事業分野への展開



自動車業界に対する戦略

自動車以外の業界に対する戦略

国内でのエリア戦略

海外拠点戦略

新規事業・M & A戦略

自動車業界に対する戦略

トヨタ自動車

カスタマーサポート・マーケティングでの売上高維持
インターナル、エクスターナル・マーケティング増強
(発売準備ビジネス)

その他の自動車メーカー
編集支援システムを武器
に参入・深耕



◀ ▼ 商品教育研修



▲ 全国販売店会議運営

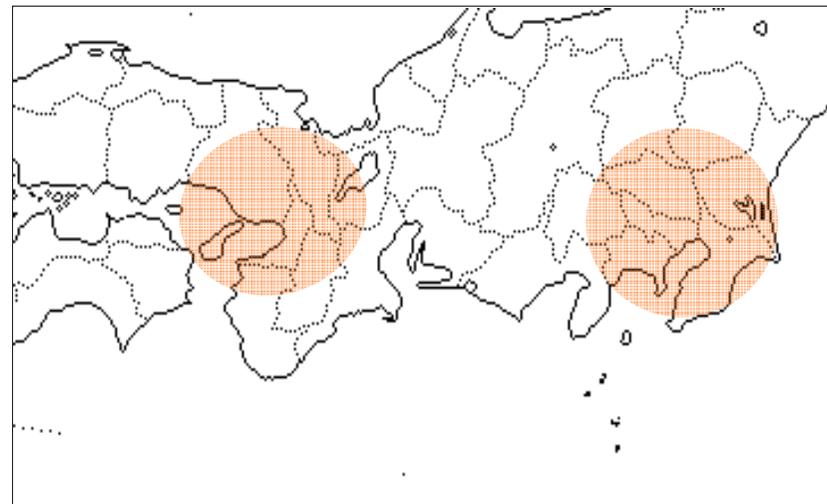
自動車以外の業界に対する戦略

ワンストップ・ソリューションを他の業界でも展開
トヨタ自動車に次ぐビッグ・クライアントを育成
建設機械メーカー、精密機械メーカーをはじめ
製薬、流通、金融などの新たな業種での
クライアント獲得も目指す



国内でのエリア戦略

首都圏・関西圏に集中する大手企業への拡販に注力

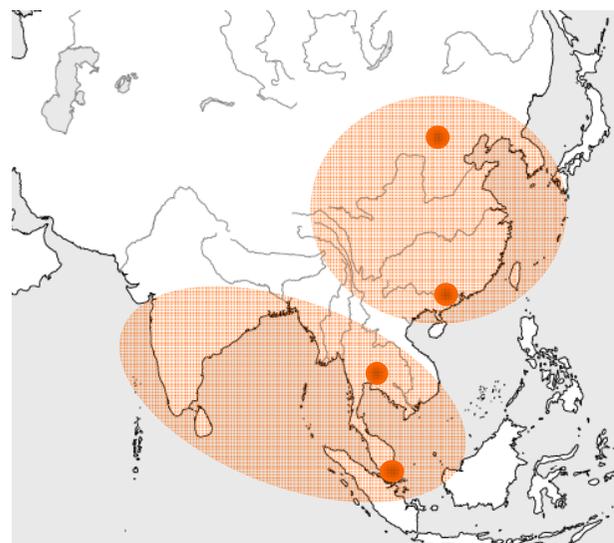


海外拠点戦略

トヨタ自動車の海外拠点対応を中心に進める

中国・・・子会社を活用したビジネスの拡大

東南アジア・・・シンガポール支店の現法化と
タイへの進出を検討



新規事業・M&A戦略

積極的なM&A、業務提携を志向

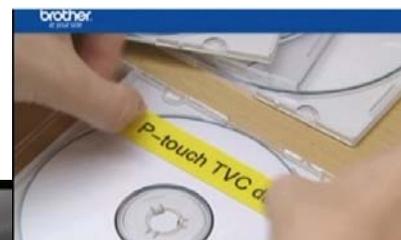
コア・ビジネスを補完する業務

今後進出すべき業務

を持つ優良企業を対象

まずは、CG・映像のノウハウを強化

▼商品コマーシャルフィルム



▼機能解説CG



本資料における当社の今後の計画、見通し、戦略等の将来予想に関する記述は、当社が現時点において合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等の結果はこれらの見通しと異なる可能性がありますことをご了承ください。

本資料に関するお問合せ先

株式会社シイエム・シイ
経営企画室担当 常務執行役員 田島龍司
電話：052-322-3386
URL：http://www.cmc.co.jp/

〒460-0021
名古屋市中区平和一丁目1番19号

株式会社 シイエム・シイ

